

ふくきたネットワーク

福岡北九州高速道路の概要



FUKUOKA



KITAKYUSHU



福岡北九州高速道路公社
平成30年(2018年)7月

基本理念

福岡・北九州両都市圏における安全・円滑な都市高速道路ネットワークを運営することにより、都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献します。

経営理念

お客様第一

お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供します。

社会的責任

高い倫理観を持ち、都市高速道路の専門家集団としての総合力を発揮して、お客様や地域の皆様に信頼される組織を目指します。

安定した経営

健全かつ効率的な経営により、将来にわたり良好な都市高速道路サービスを提供します。

公社の管理する2つの都市高速



(表紙写真) 福岡高速 室見川に架かる都市高速
北九州高速 城山緑地公園から見渡す都市高速

公社プロフィール

福岡と北九州の都市高速道路は、お客様の豊かな未来に貢献するため、道路の保全・交通管制・交通パトロールなどによる安全・安心・円滑な道路サービスを提供しています。

◆ 設立年月日

昭和46年（1971年）11月1日
福岡県、福岡市、北九州市により設立
（地方道路公社法第8条）

◆ 所在地

本社・福岡事務所
福岡市東区東浜2丁目7番53号
北九州事務所
北九州市小倉北区東篠崎3丁目1番1号

◆ 業務

福岡都市圏及び北九州都市圏の交通体系の根幹となるネットワークを形成する指定都市高速道路の新設又は改築等
（道路整備特別措置法第12条第1項）
(1) 都市高速道路の新設、改築、維持管理
(2) 都市高速道路と密接な関連のある道路の建設、管理
(3) 高架下の管理

◆ 営業延長

106.3km	福岡高速	56.8km
	北九州高速	49.5km

◆ 料金収入（平成29年度）

601.8億円/年	福岡	424.5億円/年
	北九州	177.4億円/年
1.65億円/日	福岡	1.16億円/日
	北九州	0.49億円/日

◆ 通行台数（平成29年度）

10,323万台/年	福岡	6,932万台/年
	北九州	3,390万台/年
28.3万台/日	福岡	189,925台/日
	北九州	92,885台/日

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

◆ 役員・職員数

170名 うち常勤役員 5名（平成30年7月1日現在）

目 次

公社プロフィール	1
1 福岡高速道路・北九州高速道路とは	
1) 福岡高速道路	2
2) 北九州高速道路	4
2 ネットワーク機能の強化	
1) 福岡高速のネットワーク	6
2) 北九州高速のネットワーク	7
3 安全・快適なサービスの提供	
1) 事故・渋滞対策	8
2) 交通情報提供サービス	10
3) お客様の利便性向上	11
4 安心のための維持管理	
1) メンテナンスサイクル （点検・診断・措置・記録）の取組	14
2) 維持管理の日常的な取組	14
3) 老朽化・予防保全対策	15
5 大規模災害の備え	17
6 信頼される事業運営	
1) 料金収入・通行台数 ・供用延長の推移	18
2) 高架下駐車場	19
3) 年度別収支の状況 （平成29年度）	20
4) 資金の調達と借入れ状況	22
5) 平成30年度予算	24
6) 役員・組織	24
7) 主な経緯 （計画路線・償還期間・主な供用・その他）	25

1 福岡高速道路・北九州高速道路とは

1) 福岡高速道路

路線図・交通量

福岡高速の営業延長は 56.8km、事業中延長は 2.5km で、平成 29 年度の 1 日あたりの平均通行台数は 189,925 台となっています。



整備計画

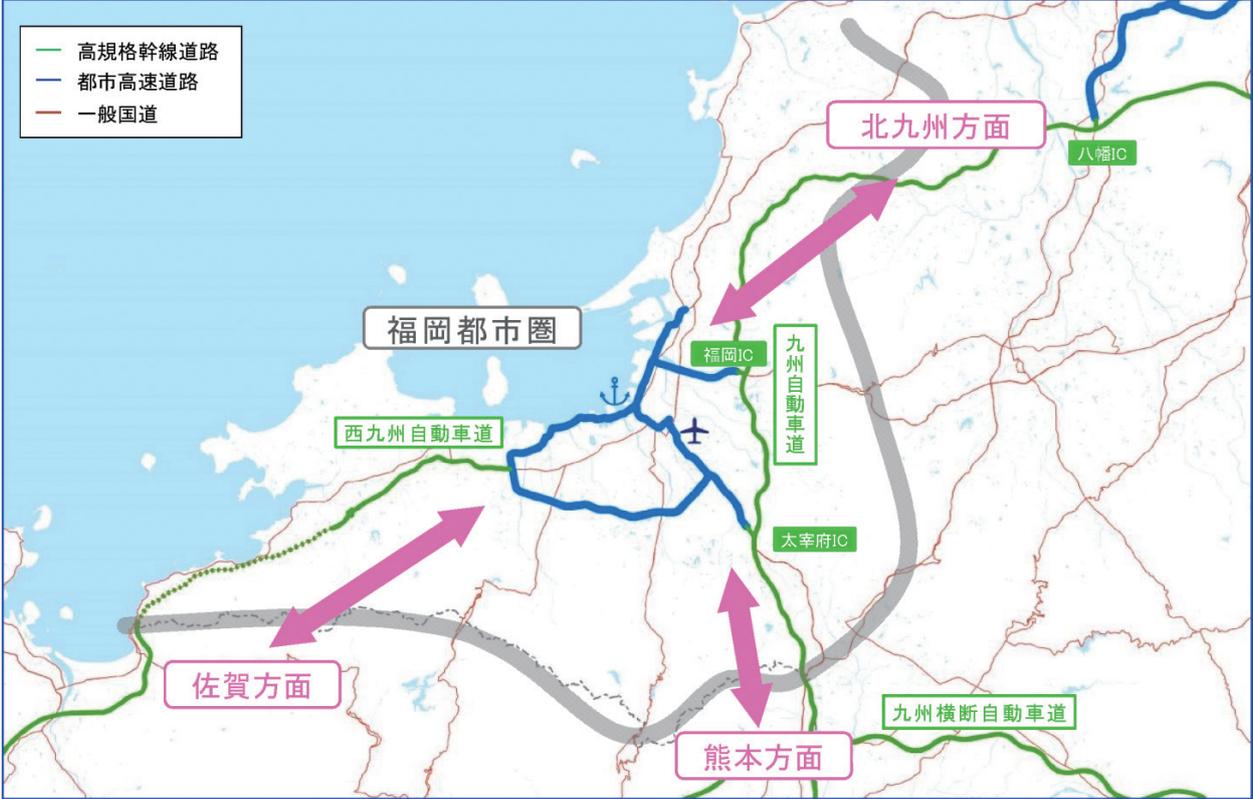
路線名	起点	終点	車線数	設計速度(km/hr)	延長(km)	事業費(億円)	工期(年度)
福岡高速1号線	福岡市東区香住ヶ丘	福岡市西区福重	4・6	60	18.0	3,167	昭和46年度～平成23年度
福岡高速2号線	福岡市博多区千代	太宰府市水城	4	60・80(※)	13.2	2,153	昭和47年度～平成24年度
福岡高速3号線	福岡市博多区東光	福岡市博多区豊	4	60	0.6	65	昭和48年度～平成19年度
福岡高速4号線	福岡市東区箱崎心頭	福岡市東区蒲田	4	60	6.9	887	平成3年度～平成19年度
福岡高速5号線	福岡市博多区西月隈	福岡市西区福重	4	80	18.1	2,375	平成10年度～平成24年度
福岡高速6号線	福岡市東区香椎浜	福岡市東区みなと香椎	4	60	2.5	176	平成28年度～平成32年度
合計					59.3	8,823	

(※) 80km/hr (金の隈～水城)、60km/hr (左記区間以外)

・事業費は一般管理費等を含む。

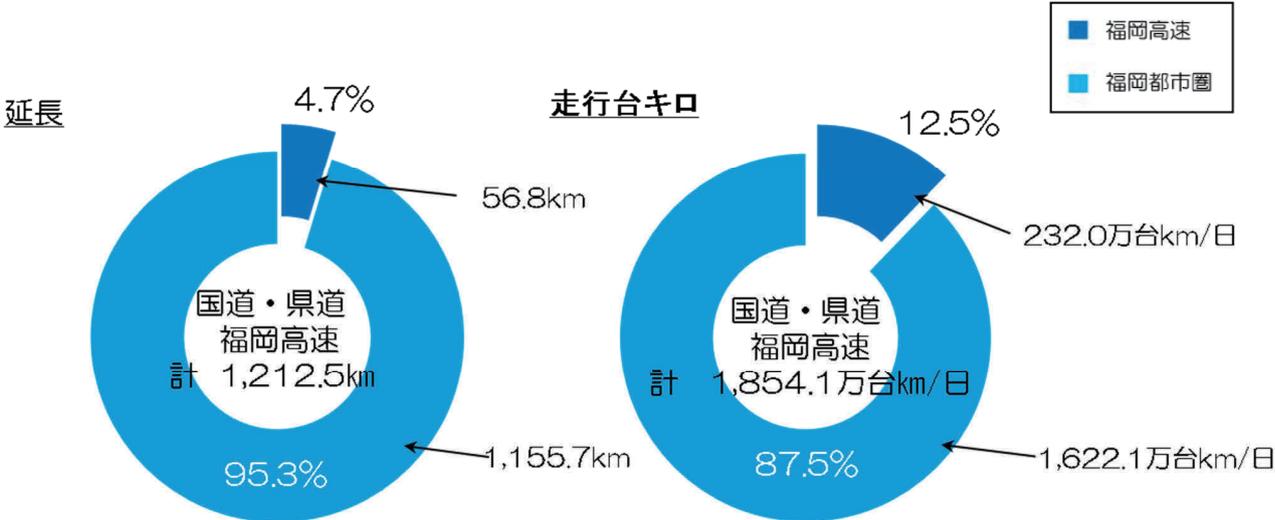
役割

福岡都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道や西九州自動車道と接続すること等により北九州方面や佐賀方面、熊本方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



福岡高速は一般道路の約3倍の交通を分担

福岡高速の道路延長は福岡都市圏全体の4.7%にとどまるが、走行台キロは12.5%を占めております。福岡都市圏の一般道路における1kmあたりの走行台数と比べた場合、約3倍の交通を支えています。



※福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町
 ※走行台キロとは1日の断面交通量に延長を掛けた数値、平成27年度道路交通センサスを基に算出

2) 北九州高速道路

路線図・交通量

北九州高速の営業延長は 49.5km で、平成 29 年度の 1 日あたりの平均通行台数は 92,885 台となっています。



整備計画

路線名	起点	終点	車線数	設計速度 (km/hr)	延長 (km)	事業費 (億円)	工期 (年度)
北九州高速 1 号線	北九州市 小倉南区長野	北九州市 小倉北区下到尾津	4	60	9.2	1,078	昭和 46年度 ~ 平成 20年度
北九州高速 2 号線	北九州市 小倉北区許斐町	北九州市 戸畑区大字戸畑	4	60	4.3	479	昭和 47年度 ~ 平成 20年度
北九州高速 3 号線	北九州市 小倉北区菜園場	北九州市 小倉北区東港	6	60	1.8	202	昭和 47年度 ~ 平成 11年度
北九州高速 4 号線	北九州市 門司区春日町	北九州市 八幡西区茶屋の原	4	60・80 (※)	31.8	1,291	平成 2年度 ~ 平成 20年度
北九州高速 5 号線	北九州市 八幡東区東田	北九州市 八幡東区神山町	4	60	2.4	550	平成 10年度 ~ 平成 20年度
合計					49.5	3,600	

(※) 80km/hr (黒崎～馬場山)、60km/hr (左記区間以外)
・事業費は一般管理費等を含む。

北九州高速4号線は、平成3年3月に日本道路公団（現NEXCO）から引き継いだ路線です。

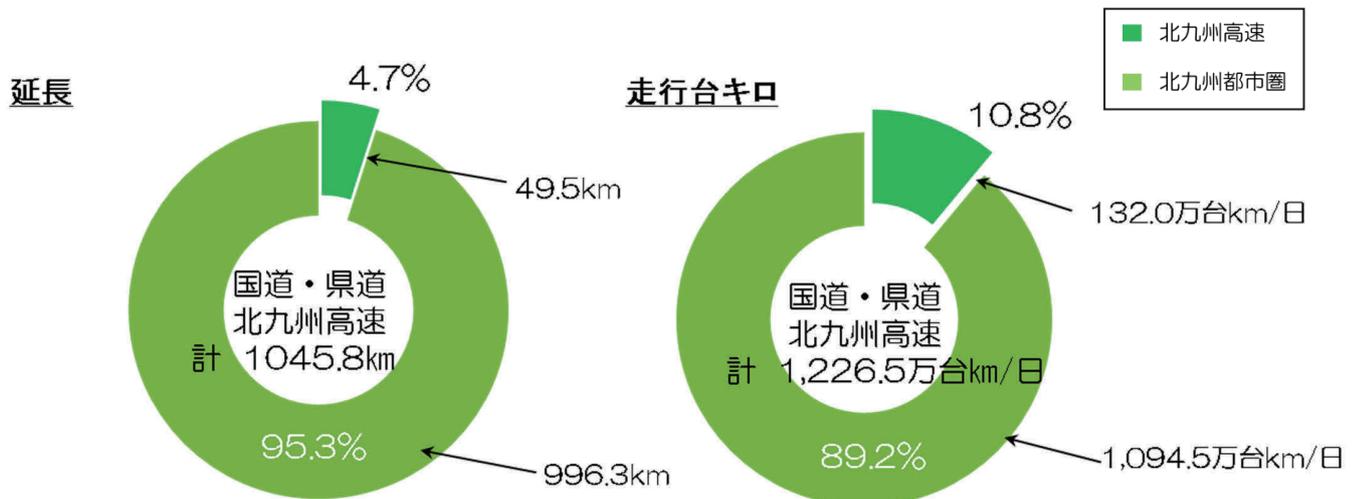
役割

北九州都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道と接続すること等により福岡方面や大分方面、山口方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



北九州高速は一般道路の約 2 倍の交通を分担

北九州高速の道路延長は北九州都市圏全体の 4.7%にとどまるが、走行台キロは 10.8%を占めております。北九州都市圏の一般道路における 1km あたりの走行台数と比べた場合、約 2 倍の交通を支えています。



※北九州都市圏：北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、築上町

※走行台キロとは 1 日の断面交通量に延長を掛けた数値、平成 27 年度道路交通センサスを基に算出

2 ネットワーク機能の強化

1) 福岡高速のネットワーク



福岡高速6号線

福岡高速6号線は、福岡高速1号線とアイランドシティ地区を結ぶ自動車専用道路です。福岡市東部地域全体の交通需要へ対応するとともに、福岡高速道路を介して、九州自動車道及び西九州自動車道に直結されることにより、国際拠点港湾である博多港（アイランドシティ地区）と九州各地を結ぶ広域的な交通ネットワークの形成を図ります。

平成28年度の事業開始以降、完成に向けて整備を推進しており、現在全線にわたり工事を進めています。



※工事の進捗状況は、都市高速ホームページ <https://www.fk-tosikou.or.jp/kigyo/6go/sintyoku.shtml> にて公開しています。

福岡空港関連の自動車専用道路

福岡空港の滑走路増設などの機能強化にあわせ、福岡市南部地域や太宰府 IC 方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、国道3号福岡南バイパス空港口交差点の混雑緩和を図るため、本路線の事業化に向け、福岡市において都市計画法及び環境影響評価法に基づく手続きが進められています。



■都市高速の延伸イメージ

2) 北九州高速のネットワーク



北九州都市圏の自動車専用道路ネットワークの整備状況

都市基盤と国際物流ネットワーク機能の強化を図るため、北九州高速道路に繋がる自動車専用道路網の整備が着実に進められています。

黒崎バイパスとの接続により、北九州西部及び遠賀・宗像方面の利便性が大きく向上しました。

戸畑枝光線
 事業主体：北九州市
 事業着手：平成23年度より

国道3号黒崎バイパス
 事業主体：国土交通省
 事業着手：平成3年度より



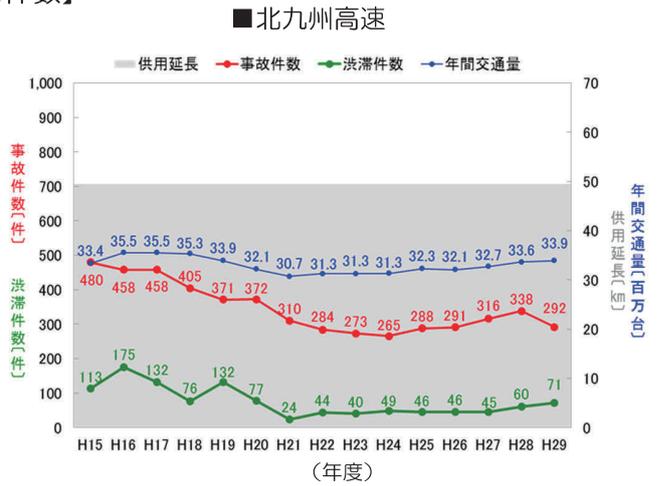
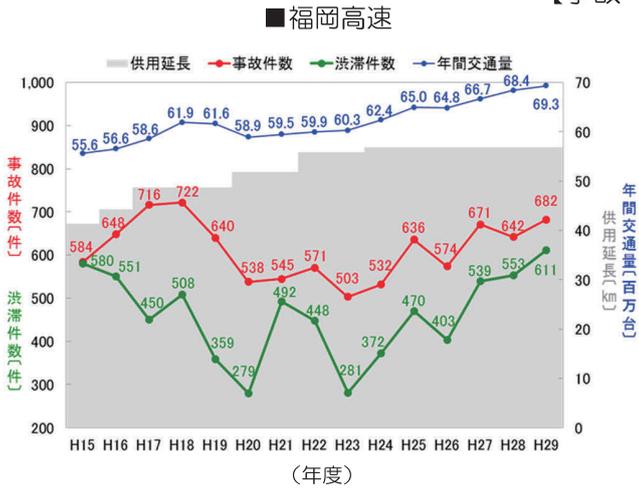
3 安全・快適なサービスの提供

1) 事故・渋滞対策

(1) 事故・渋滞件数の推移

事故及び渋滞の減少に向け、これまで、道路ネットワークの構築や安全対策を行ってきました。
今後も引き続き、事故及び渋滞対策に取り組んでまいります。

【事故・渋滞件数】



※渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

(2) 過去の主な取組

	対策事例①【福岡高速】 百道カーブ	対策事例②【福岡高速】 貝塚JCT	対策事例③【北九州高速】 黒崎出口合流部付近
対策内容	<p>【スリップ事故対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装面にすべり止め工法の適用 → 耐すべり性能の向上 ・高輝度大型矢印板の延長 → 注意喚起・視線誘導の強化 	<p>【渋滞対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存1車線から2車線に変更 → 交通容量の増加 <p>【交通誘導対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面表示と標識板のカラーを統一 → 案内誘導の強化 	<p>【速度抑制対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面段差設置やポストコーン設置 → 注意喚起・車線変更の抑止 ・舗装面にグルーピング施工※ → グリップ力の向上
対策前			
対策後	<p>施設接触事故減少</p>	<p>渋滞・追突事故減少</p>	<p>速度超過事故減少</p>

※グルーピング：舗装面に浅い溝を複数均等に切ること、雨天時の水をはけを良くし路面とタイヤのグリップ力を高める効果が期待されます。

(3) 平成29年度の主な取組

■ 渋滞対策 【福岡高速】 1号香椎線（下り） 貝塚JCT西→箱崎

【対策背景】

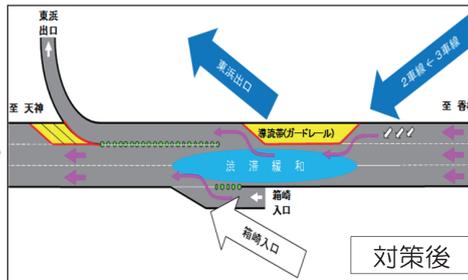
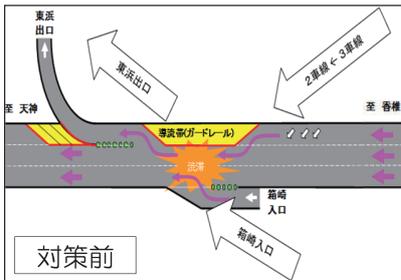
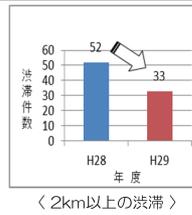
- ・朝夕ピーク時の交通集中による渋滞が東浜出口付近を先頭が発生

【対策内容】

- ・東浜出口分岐位置を箱崎入口合流部手前に変更
- ・路面標示(大型矢印)の設置

【効果】

- ・渋滞長2km以上の件数が約4割減少



■ 渋滞対策 【福岡高速】 環状線内回り（半道橋出口）

【対策背景】

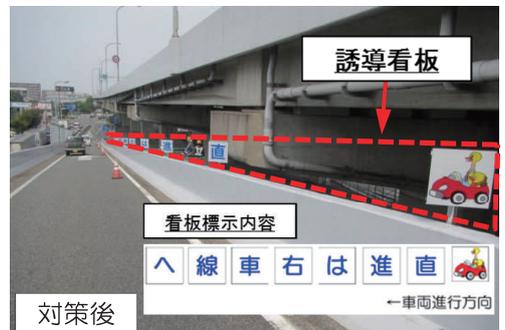
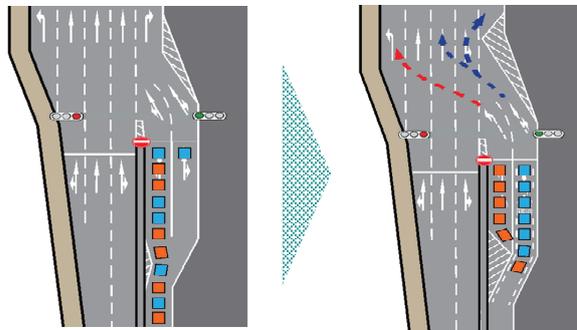
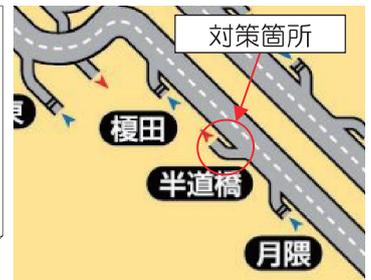
- ・半道橋出口の交通容量不足による渋滞が発生

【対策内容】

- ・車線運用の変更
- ・右側車線への誘導を図るために誘導看板を設置

【効果】

- ・右側車線の通行車両が増加
 - ・信号1回当たりの通過台数が増加
- 本線の渋滞が緩和



■ 事故対策 【北九州高速】 5号線(上り) 春の町カーブ

【対策背景】

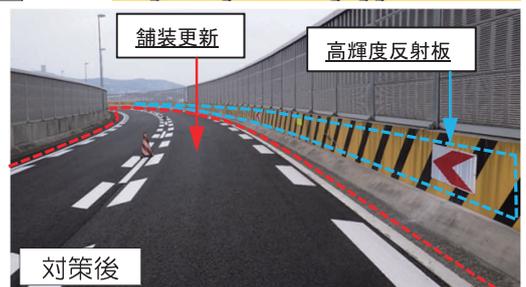
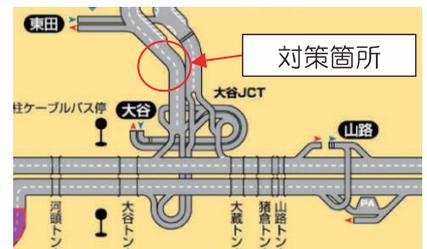
- ・路面湿潤時の操作不適當による施設接触事故が発生

【対策内容】

- ・高輝度反射板設置
- ・舗装更新

【効果】

- ・対策後の経過を観察中



2) 交通情報提供サービス

交通管制

交通管制室では、交通監視カメラや非常電話などにより異常事態の有無、道路状況、気象状況などの情報を収集し、情報板やVICS※などによりお客様に情報提供しております。

また、異常事態発生時には、パトロールカーを現場に急行させ、事態の処理に関して適切な措置をとるよう指示するとともに、必要に応じて消防車、救急車などの出動要請などを行っています。



交通管制室

※VICS：Vehicle Information and Communication Systemの略称

渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に文字・図形で表示する情報通信システムのことをいう。

交通パトロール

都市高速道路を定期または臨時に巡回し、事故や故障車の有無などの交通の状況、落下物や道路損傷の有無などの道路の状況、気象状況などの情報を収集しています。

また、異常事態が発生した場合は現場に急行し警察とともに事故への対応、落下物の排除、故障車などへの対応を行い、さらに台風や大雨、積雪、凍結、地震時には交通規制を行っています。



落下物処理

(参考-H29年度実績)

落下物対応：約8,000件

故障車対応：約1,900件

事故対応等：約1,000件

情報収集・情報提供機能

高速道路上に設置された各種センサからの検知結果を集計し、発生している交通状況及び気象状況を収集しています。

また、道路情報板、VICSなど様々な提供媒体を通して、利用者へ一元化した情報提供を行っています。

【情報収集機能】



本線車両感知器



非常電話



監視用テレビカメラ



気象観測装置

【情報提供機能】



入口情報板

3) お客様の利便性向上

都市高速をより分かりやすくするための便利ツール

◆イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速をより便利で身近な道路として活用していただくため、出入口や料金のご案内、通行できる車両の基準などの注意事項等を掲載したイラスト地図「スイスイマップ」を作成、配布しています。

主な
設置箇所

- 都市高速のすべての料金所
- 都市高速周辺の大型商業施設
- 関係庁舎
- 主要観光施設及び観光案内所
- 自動車販売店及び自動車関連商品販売店
- レンタカー会社
- 自動車学校
- 道の駅
- SA（サービスエリア）、PA（パーキングエリア）など

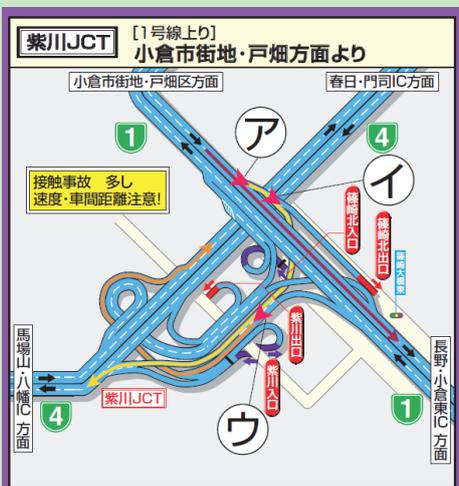
※詳しい設置箇所は、ホームページで確認できます。
（「都市高速ガイド」>「都市高速道路スイスイマップ」>「設置場所はここから」）



JCT（ジャンクション）の形状を、運転者の目線で立体的に分かるよう「ドライバースビュー」をマップ内に表示しています。

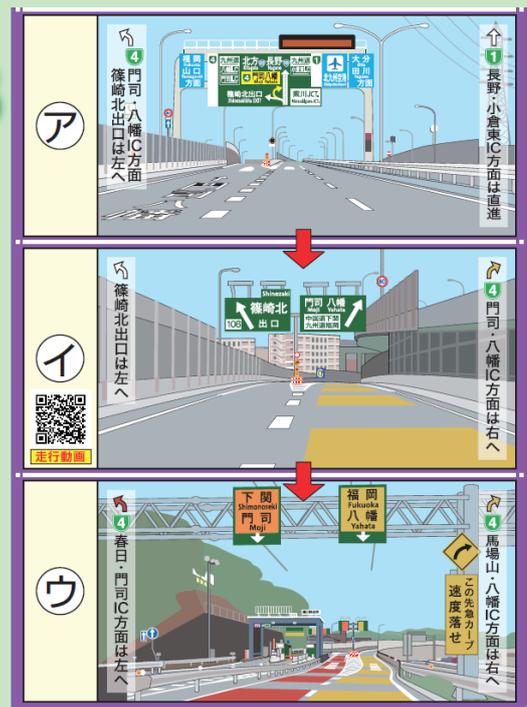
ドライバースビュー表示例

JCT（ジャンクション）拡大図



立体的表示で
分かりやすい！

ドライバースビュー



◆LINE@

LINE@配信イメージ



福岡高速6号線の工事進捗状況、イベント情報や、工事による交通規制のお知らせなど、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供するため、3月1日よりLINE@を開始しました。



◆「ハイウェイテレホン」

- 通行止や渋滞、平均所要時間などの道路状況を音声及び文字にてご案内いたします。
- 道路情報は約5分おきに更新されます。

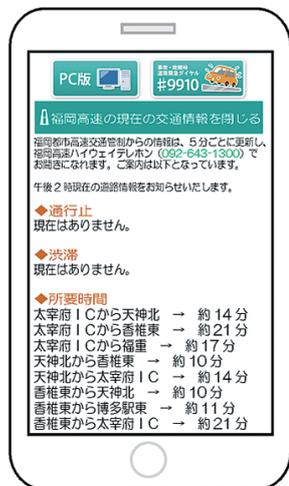
聞く！ 音声にてご案内しています。

福岡ハイウェイテレホン（自動音声） ☎092-643-1300
 北九州ハイウェイテレホン（自動音声） ☎093-931-1400

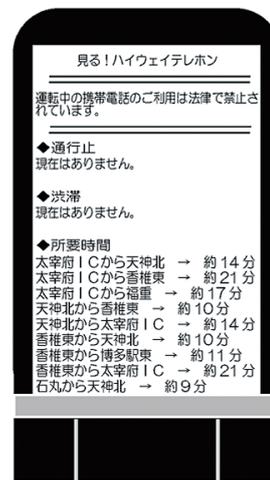
見る！ 文字にてご案内しています。

スマートフォンや携帯電話からアクセスできます。

スマートフォンサイトイメージ



携帯電話サイトイメージ



- 情報料は無料ですが、別途通信費がかかります。
- 運転中のスマートフォンや携帯電話のご利用は法律で禁止されています。

お客様からのご意見に対応した取組

より利用しやすい都市高速を目指し、お客様から頂いたご意見・ご要望をもとに、サービス向上に向けた取組を行っています。

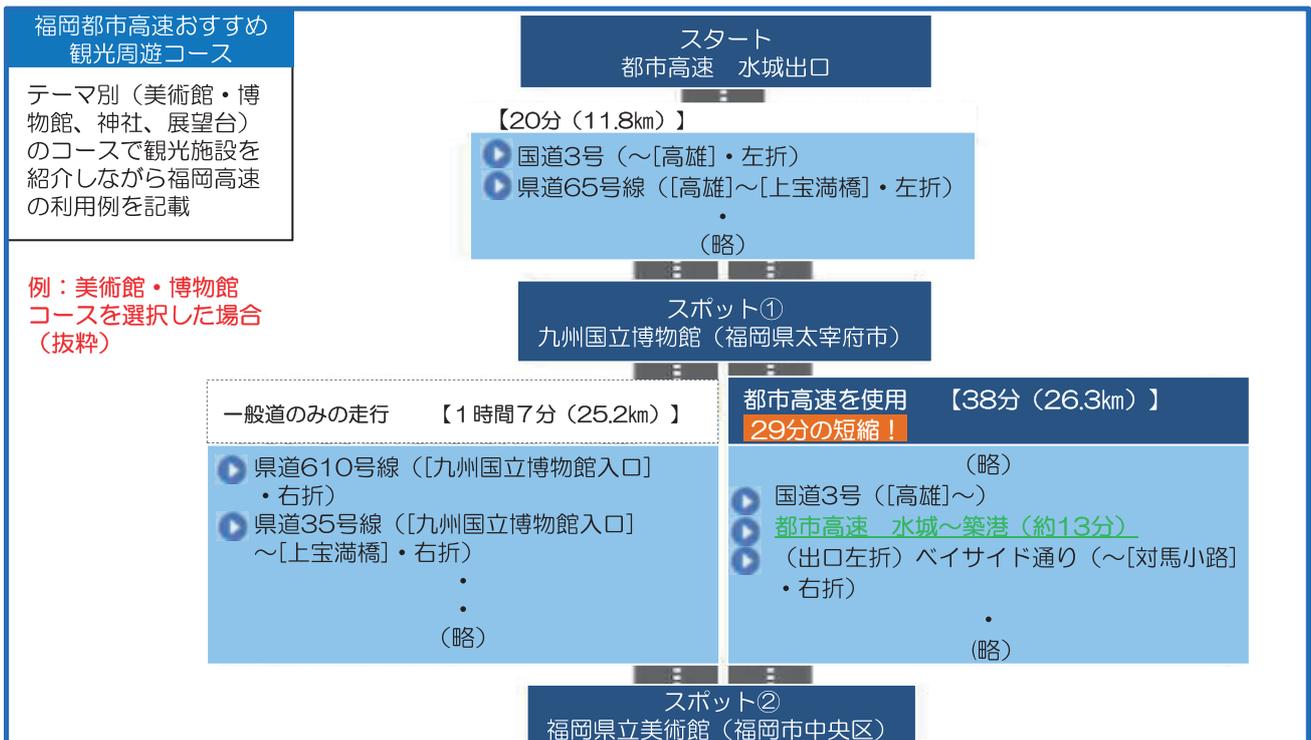
お客様のご意見

- 都市高速の出入口付近の観光案内をしてほしい。
- 時間短縮が見込めれば利用してみたい。

◆改善事例

出入口付近の観光案内

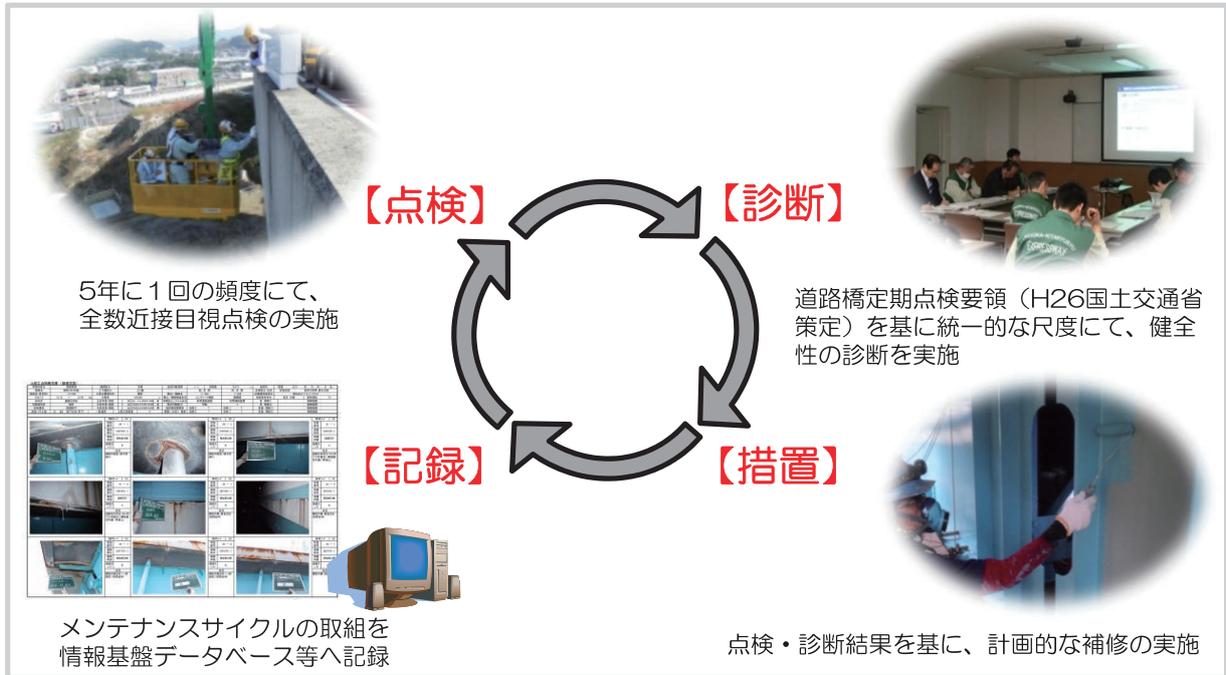
公社HP（観光情報）で都市高速を活用しているいろいろな観光施設を巡るモデルコースと所要時間などを掲載しました。



4 安心のための維持管理

1) メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の取組

都市高速道路の安全かつ円滑な交通を保持するためには、道路を常に良好な状態に保つ必要があります。このため、平成29年度に策定したインフラ長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の取組を確実に実施しながら、各種構造物・施設の適切な維持管理を行っています。



2) 維持管理の日常的な取組

緊急事象への対応

路面の損傷や交通事故による施設の損傷、落下物の回収をはじめとする高速道路上でのあらゆる緊急事象に対し24時間365日体制で臨んでいます。



事故対応



緊急補修対応

道路清掃・樹木管理

全線にわたる路面清掃や草刈等の樹木管理を定期的に行っています。

積雪・凍結への対応

路面凍結による事故を未然に防ぐため、状況により凍結防止剤の散布を行います。また、積雪による通行止めの場合、除雪して早期開放に努めます。



路面清掃



草刈



除雪作業



3) 老朽化・予防保全対策

福岡高速・北九州高速ともに供用から30年以上経過した路線が増えており、海沿いの路線や交通量の多い区間を中心に損傷の発生が増加傾向にあります。このような過酷な供用条件にある橋梁については、道路を健全な状態に保つため、集中的な対策を行っています。

福岡高速道路

福岡高速では、料金認可（H24.7.10）により老朽化・予防保全対策として約630億円の追加投資が決定しており、H43年までの20年間でコンクリート部の剥落対策や床版の補強、鋼部材の塗装補修などを進めています。

凡例	供用年数	延長(km)
	30年以上	9.2
	20～29年	11.0
	10～19年	28.5
	10年未満	8.1
	合計	56.8

平成30年4月1日現在

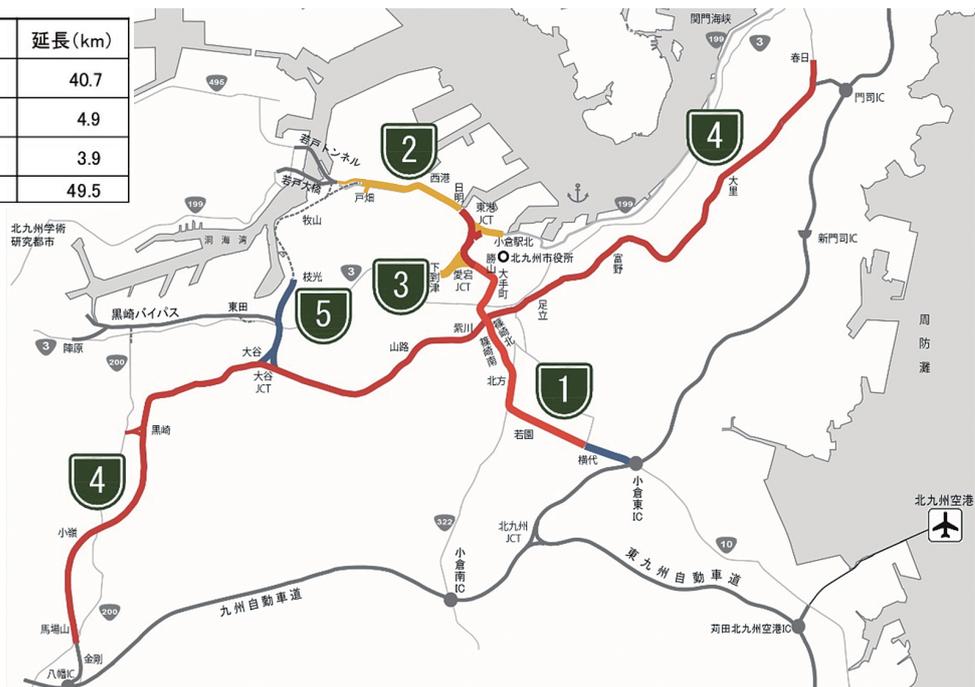


北九州高速道路

北九州高速では、H15～H20年度に4号線の橋梁、トンネル、付属物等の長寿命化を目的として大規模補修事業（約245億円）を実施しました。その他の路線についても舗装補修（橋面防水工含む）や、しゃ音壁の補修などを進めています。

凡例	供用年数	延長(km)
	30年以上	40.7
	20～29年	4.9
	10～19年	3.9
	合計	49.5

平成30年4月1日現在



【H29年度の実施状況】

福岡高速道路

平成24年度より、福岡高速1号線（香椎線）の香椎～千鳥橋JCT 区間を中心に老朽化・予防保全対策を進めています。

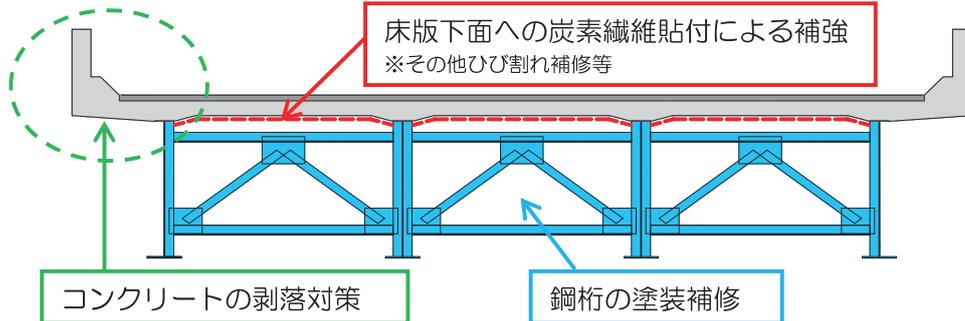
＜香椎～千鳥橋JCT 区間の特徴＞

供用から30年を超える古い橋梁であり、今後高齢化が進むことや、博多湾沿いに位置することから塩の影響を受ける恐れがあります。

老朽化・予防保全対策工事における具体策の事例

- ひび割れの補修、はくり・鉄筋露出部の断面修復及びコンクリート部の剥落対策
- 保護塗装によるコンクリート橋脚の天端防水
- 床版下面への炭素繊維貼付による補強
- 鋼桁の塗装補修

（桁端部は腐食が進行しやすいため、高品質な素地調整を採用した上で塗装補修を実施しています。）



【橋梁補修の対策箇所の概要】



床版（補修・補強前）



床版（補修・補強後）



塗装（補修・補強前）



塗装（補修・補強後）

北九州高速道路

北九州高速1号線で舗装の改良としゃ音壁および防護柵の補修、3号線ではしゃ音壁の補修を行っています。

【舗装改良工事】

1号線：大手町～勝山 区間



（補修完了）



【補修前：路面の状態】

【しゃ音壁補修工事】

1号線：北方～篠崎南 区間
3号線：東港JCT～愛宕JCT 区間



（補修完了）



【補修前：金属パネルの状態】

【防護柵補修工事】

1号線：横代～若園 区間



（補修完了）



【補修前：支柱基部の状態】

5 大規模災害の備え

災害時の役割

九州地方整備局や福岡県では、地震発生直後、直ちに迅速な道路啓開が可能となるように道路啓開計画が策定されています。都市高速も緊急輸送ルートや第1次啓開ルートに位置づけられています。

策定年	計画	事務局	想定地震	想定最大震度	都市高速の位置づけ
H27年度	九州道路啓開計画	九州地方整備局	南海トラフ巨大地震	震度5弱	緊急輸送ルート
H28年度	福岡県道路啓開計画(案)	福岡県	警固断層等による地震	震度6強	第1次啓開ルート

災害時に備えた協定

震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定

大規模災害時に都市高速を管理する5団体が応急復旧業務を円滑に行うために相互に協力する目的で協定を締結しています。
（被災状況や通行止め状況などの）情報交換や応急工事などの協力要請について定めています。

- 目的：災害時の人材・資機材の相互協力
締結日：平成24年3月7日
- 首都高速道路株式会社
 - 阪神高速道路株式会社
 - 名古屋高速道路公社
 - 福岡北九州高速道路公社
 - 広島高速道路公社



災害応急支援業務に関する協定書

災害の緊急的な応急対策に関して被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に資することを目的とし、協定を締結しています。この協定により必要に応じて、民間4団体に詳細点検や応急対策等の協力要請ができるようになっています。

- 目的：災害時の都市高速の復旧に資する協定
締結日：平成18年3月1日
- 日本建設業連合会 九州支部 (RC構造物・擁壁・トンネル・土工)
 - 日本道路建設業協会 九州支部 (舗装・伸縮装置・標識・遮音壁・高欄)
 - 日本橋梁建設協会 九州事務所 (鋼構造物)
 - プレストレスト・コンクリート建設業協会 九州支部 (PC構造物)

災害時に備えた計画

危機（災害等）において事業運営に伴う様々な課題に対して被害の最小化が図られ、できるだけ短時間で事業の再開を行うため、危機（災害等）の対策や迅速かつ的確な対応を明らかにすることを目的として事業継続計画（BCP）を策定しています。

- 通行止めの判断及び実施
- 被災状況把握を目的とした点検、応急復旧
- 交通機能の確保を目的とした障害物の除去、段差解消等

など災害発生後の対応を具体的に定めています

6 信頼される事業運営

1) 料金収入・通行台数・供用延長の推移

福岡高速道路

平成29年度

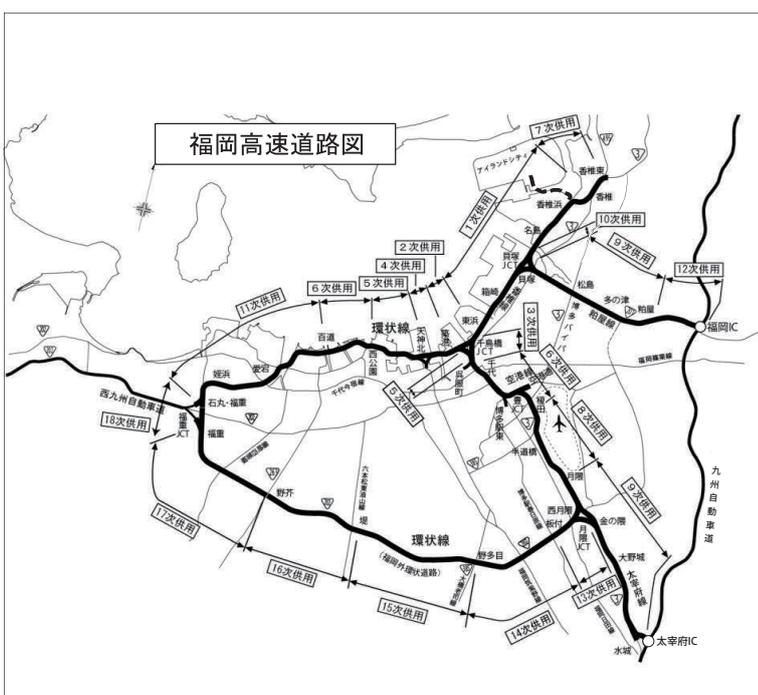
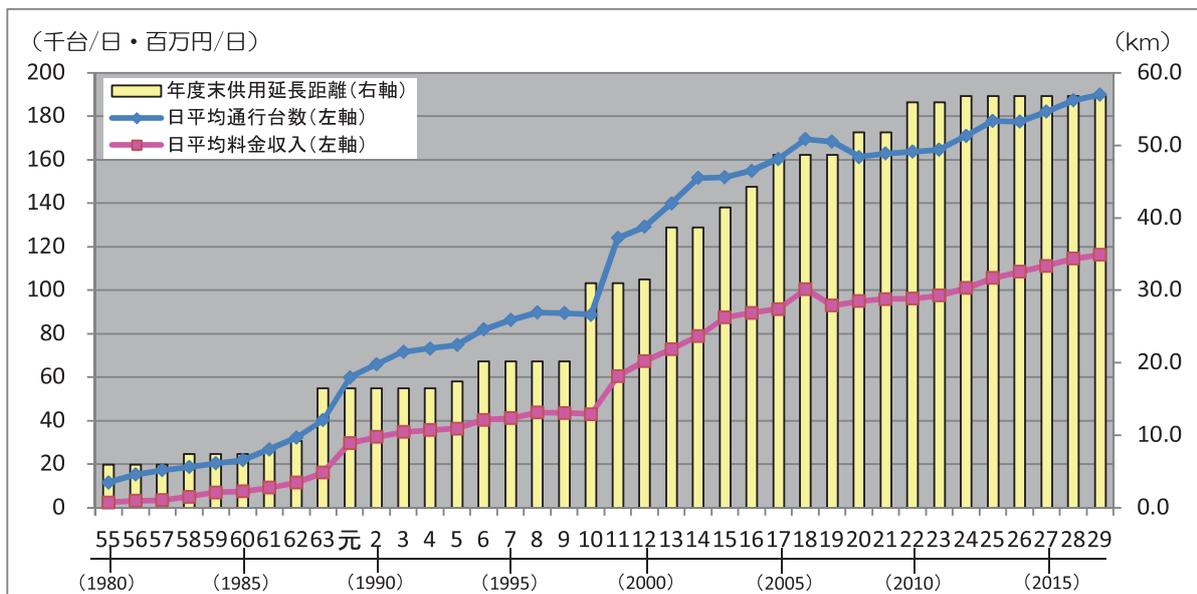
料金収入 424.5億円/年

日平均料金収入 1.16億円/日

日平均通行台数 189,925台/日

供用延長距離			
平成30年3月末現在 56.8km			
料 金			
普通車	620円	大型車	1,230円

E T Cの利用率 86.2% (H30.3月)
(対前年同月比 +0.8P)



供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)	普通車料金 (円)
1次供用	S55.10.20	ア 5.9	200
2次供用	S58.10.6	イ 7.4	350
3次供用	S61.4.23	ウ 8.2	400
4次供用	S62.11.6	イ 9.2	400
5次供用	S63.10.31	ウ 11.3	400
6次供用	H 1.3.4	イ 16.5	500
	H 1.10.1	エ	
7次供用	H 5.4.2	ウ 17.4	510
	H 6.4.4	ウ 20.2	
9次供用	H11.3.27	ウ 31.0	550
	H12.3.28	エ	
10次供用	H12.11.21	ウ 31.5	550
11次供用	H13.10.13	ウ 36.8	
12次供用	H14.3.10	ウ 38.7	600
13次供用	H15.5.1	ア 41.4	
14次供用	H16.6.27	ウ 44.3	600
15次供用	H18.3.26	ウ 48.7	
16次供用	H20.4.19	ウ 51.8	600
17次供用	H23.2.26	ウ 55.9	
18次供用	H24.7.21	ウ 56.8	620
	H26.4.1	エ	

(注1) ア：供用+同日料金改定、イ：供用+翌日料金改定
ウ：供用のみ、エ：料金改定のみ
(注2) 大型車料金は、H1.10.1料金改定時(1,030円)及び
H26.4.1料金改定時(1,230円)を除き、普通車の2倍

北九州高速道路

平成29年度

料金収入 177.4億円/年

日平均料金収入 0.49億円/日

日平均通行台数 92,885台/日

供用延長距離

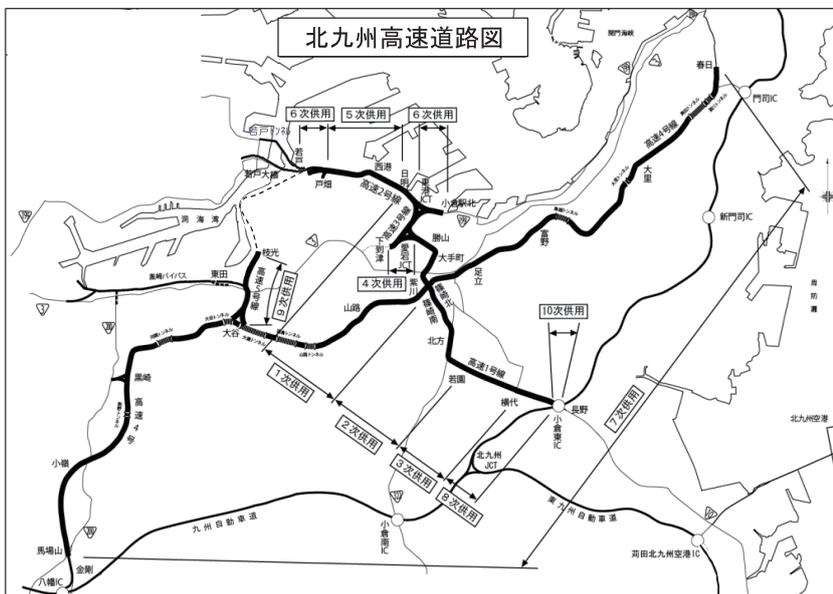
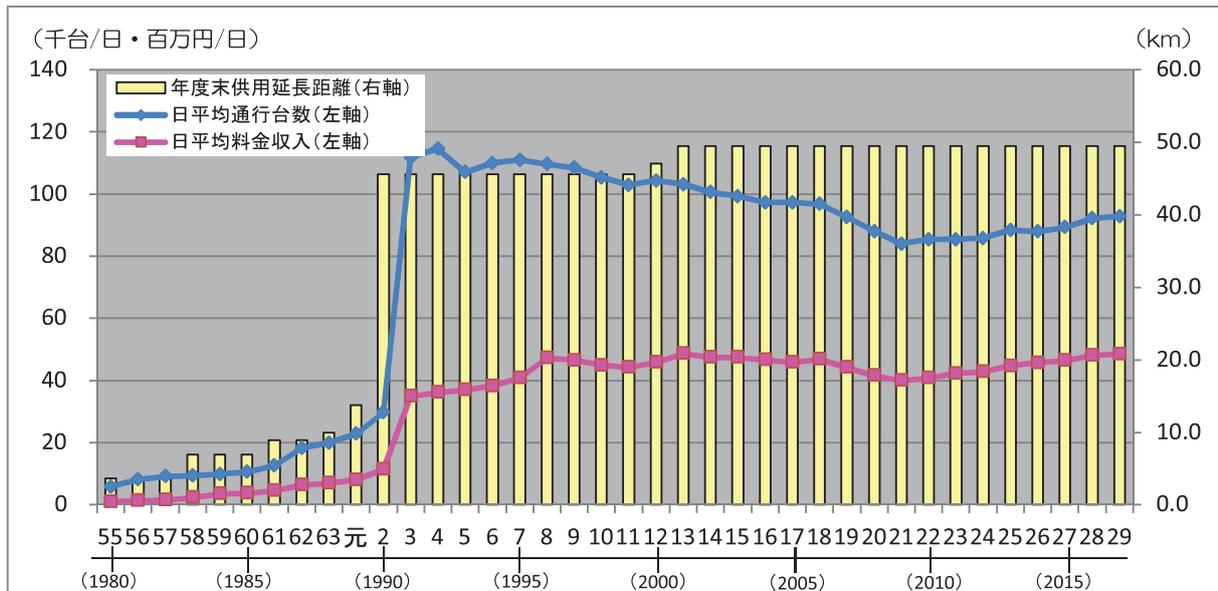
平成30年3月末現在 49.5km

料金

普通車 510円 大型車 1,030円

E T Cの利用率 81.6% (H30.3月)

(対前年同月比 +1.1P)



供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)	普通車料金 (円)	
1次供用	S55.10.20	ア	3.7	150
2次供用	S58.10.6	イ	6.9	
3次供用	S61.12.2	ウ	8.9	
4次供用	S63.12.17	ウ	10.0	350
5次供用	H 1. 8.30	イ	12.8	
6次供用	H 2. 3.31	ウ	13.8	360 (注3)
7次供用	H 3. 3.31	ア	45.6	
	H 5. 4. 1	エ	47.1	450
8次供用	H 7. 9.30	イ		
9次供用	H12. 7.26	ウ	49.5	500
	H12.11. 1	エ		
10次供用	H13. 7. 2	ウ	510	510
	H18. 2.26	ウ		
	H26. 4. 1	エ		

(注1) ア：供用+同日料金改定、イ：供用+翌日料金改定
ウ：供用のみ、エ：料金改定のみ
(注2) 大型車料金は、H26.4.1料金改定時(1,030円)を除き、普通車の2倍。
(注3) H3.3.31からH5.3.31まで4号線は距離別料金。

2) 高架下駐車場

福岡高速道路及び北九州高速道路の高架下の有効利用として駐車場の運営管理を行っています。

区分	施設数	契約台数	料金収入(百万円)
福岡 駐車場	34	約1,300台	116
北九州 駐車場	45	約1,000台	104
計	79	約2,300台	220

*施設数及び契約台数は平成30年4月1日現在

*年間収入は平成29年度実績

3) 年度別収支の状況 (平成29年度)

損益計算書の概要

(単位：億円)

	収 益			費 用					償還準備金繰入
	業務収入	業務外収益	計	道路管理費	一般管理費	業務外費用	損失補填引当金	計	
福岡・北九州高速道路	605.7	0.4	606.0	140.6	11.5	57.8	27.9	237.7	368.3
福岡高速道路	427.4	0.2	427.7	94.8	7.1	34.4	19.7	156.0	271.7
北九州高速道路	178.2	0.2	178.4	45.7	4.4	23.4	8.2	81.8	96.6

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

<根拠法令等> 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

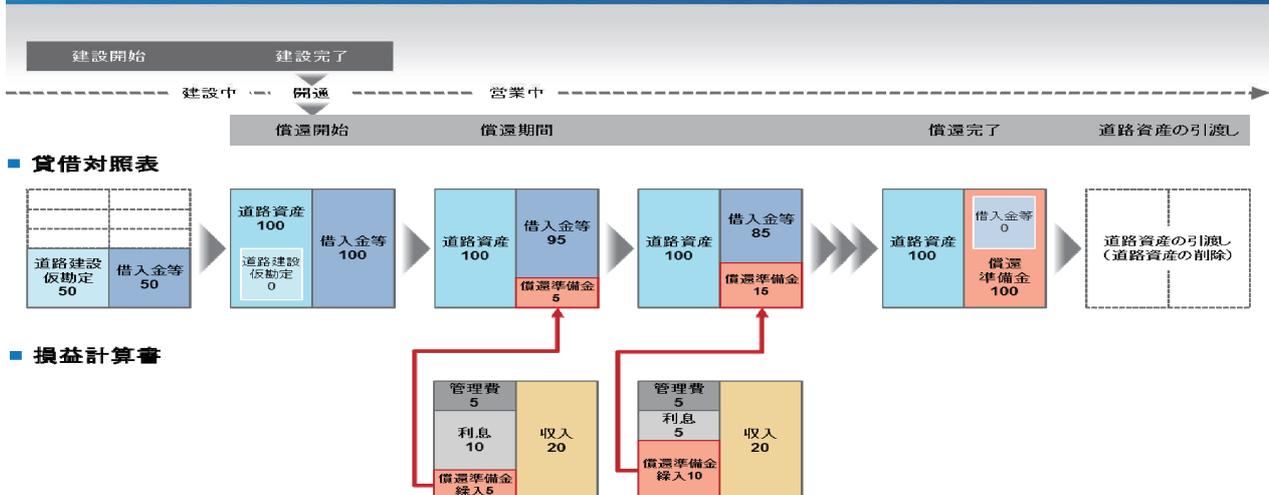
- 公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度では、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるといった企業会計一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と、借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

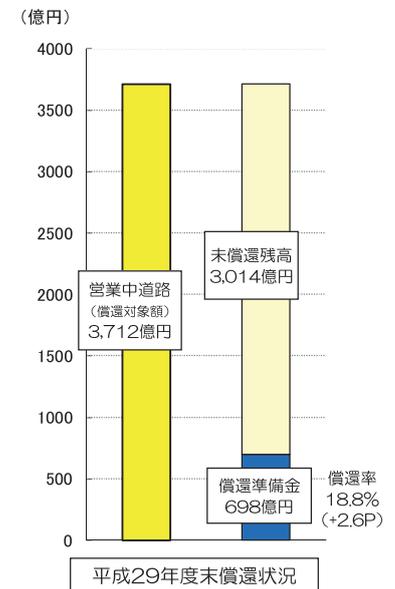
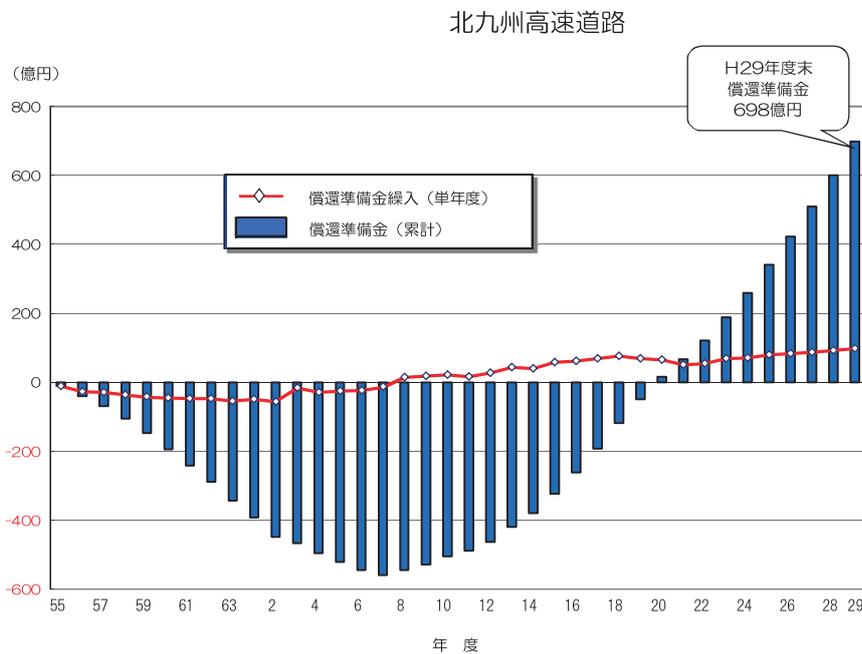
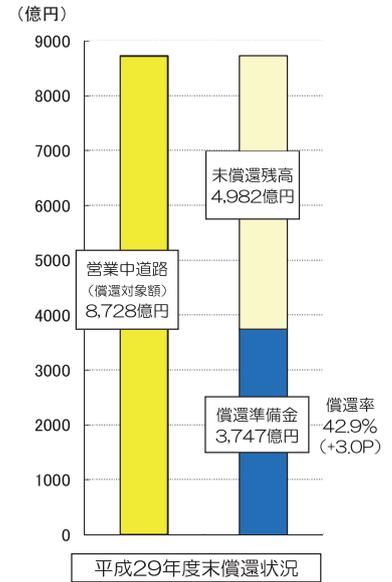
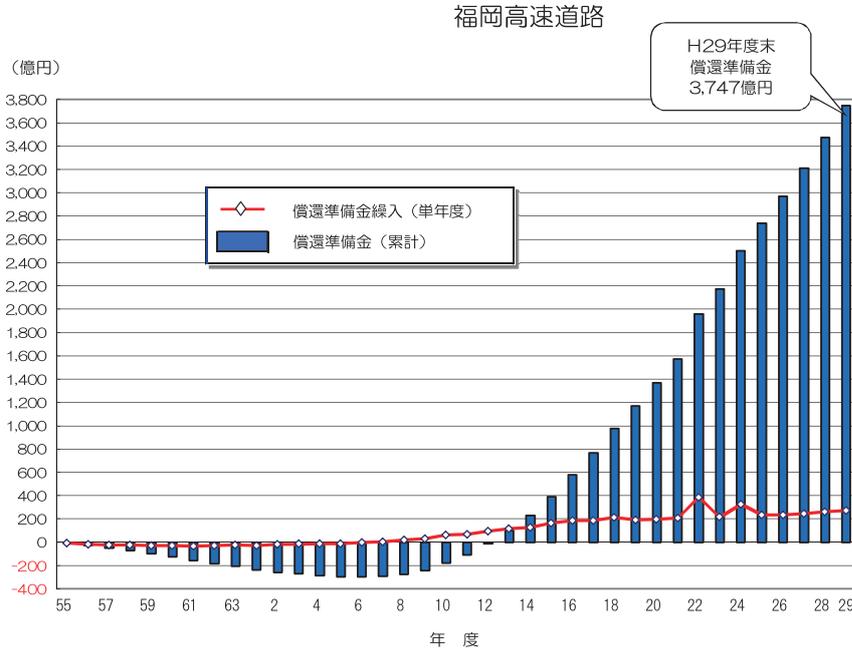
償還準備金積み立て方式のしくみ

公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



償還準備金の推移

- 平成29事業年度決算では、福岡高速、北九州高速ともに過去最高の償還準備金繰入を達成
- 償還準備金繰入は堅調に推移し、今後も着実に償還準備金積立を行う見通し



※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

償還準備金繰入：収益から費用を差し引いた毎年度の収支差

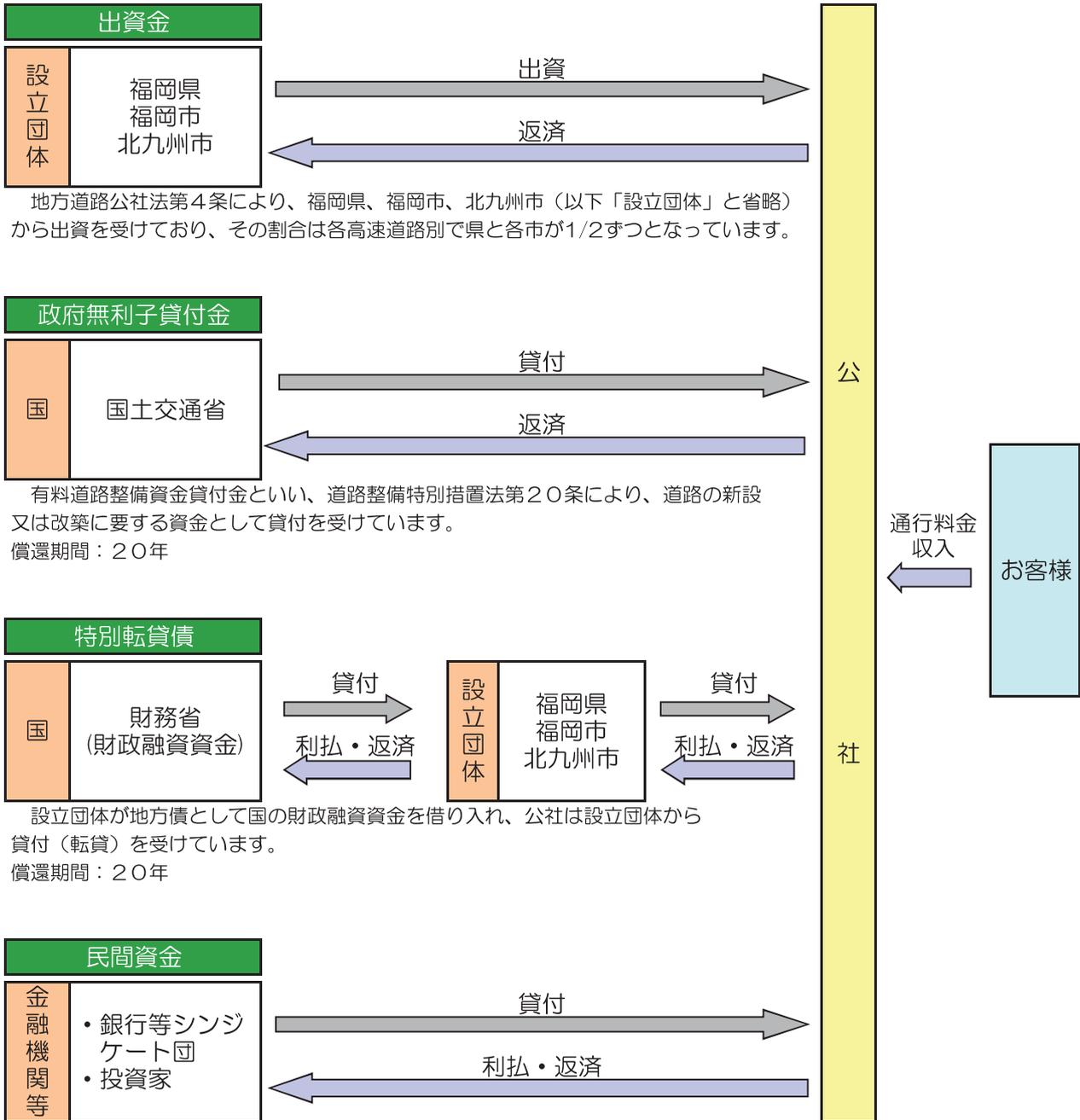
償還準備金：償還準備金の累計額

償還率：償還準備金÷営業中道路（償還対象額）

4) 資金の調達と借入れ状況

資金の構成と返済の流れ

高速道路の建設にかかる資金は、設立団体、国、金融機関等からの出資金や借入金等で調達し、これを通行料金収入で一定期間内に返済する制度となっています。



公社債の発行や銀行からの貸付により資金を調達しています。

調達する資金には、地方道路公社法第28条により、福岡県、福岡市、北九州市の債務保証が付されており、より一層信用力が高いものとなっています。

償還期間：5年、10年、15年、20年

資金の借入れ状況

【全体】

(単位：億円)

	H28年度末 借入金残高 A	H29年度 借入額 B	H29年度 償還額 C	H29年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	2,215	6	0	2,222	28.6%
無利子貸付金	985	11	134	862	11.1%
小計(無利子)	3,200	17	134	3,084	39.7%
特別転貸債	760	15	94	681	8.8%
金融機構資金	66	0	11	55	0.7%
民間資金	4,071	322	449	3,944	50.8%
小計(有利子)	4,897	337	554	4,680	60.3%
合計	8,098	354	688	7,764	100.0%

【福岡高速道路】

(単位：億円)

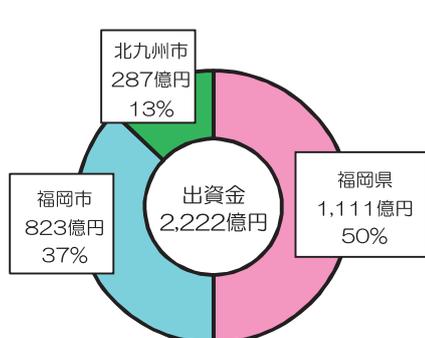
	H28年度末 借入金残高 A	H29年度 借入額 B	H29年度 償還額 C	H29年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	1,640	6	0	1,647	33.2%
無利子貸付金	549	11	104	456	9.2%
小計(無利子)	2,190	17	104	2,103	42.4%
特別転貸債	632	15	71	577	11.7%
金融機構資金	53	0	9	45	0.9%
民間資金	2,311	121	202	2,230	45.0%
小計(有利子)	2,997	136	281	2,852	57.6%
合計	5,186	153	385	4,954	100.0%

【北九州高速道路】

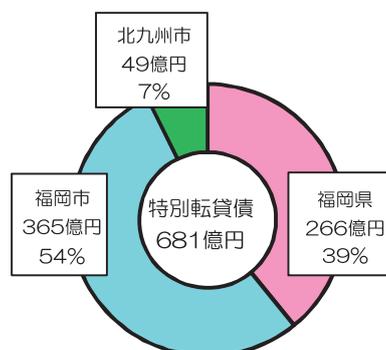
(単位：億円)

	H28年度末 借入金残高 A	H29年度 借入額 B	H29年度 償還額 C	H29年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	575	0	0	575	20.5%
無利子貸付金	436	0	29	406	14.4%
小計(無利子)	1,011	0	29	981	34.9%
特別転貸債	128	0	24	104	3.7%
金融機構資金	13	0	2	11	0.4%
民間資金	1,760	201	247	1,714	61.0%
小計(有利子)	1,901	201	273	1,829	65.1%
合計	2,911	201	302	2,810	100.0%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



出資金受入状況 (平成29年度末)



特別転貸債借入残高 (平成29年度末)

5) 平成30年度予算

(単位：億円)

事業区分	収 入				支 出			
	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計
建設事業	出資金	8	-	8	高速道路建設費	47	-	47
	無利子貸付金	13	-	13	一般管理費	4	-	4
	特別転貸債	18	-	18	支払利息	1	-	1
	高速道路債券	13	-	13				
	小 計	51	-	51	小 計	51	-	51
管理事業	高速道路料金収入	431	182	613	維持改良費 (*1)	68	18	86
	駐車場料金収入	1	1	2	業務管理費 (*2)	56	32	88
	原因者負担金受入	1	1	1	原因者負担補修費	1	1	1
	民間借入金	229	154	383	一般管理費	9	6	15
	業務外収入	1	1	1	業務外支出	529	281	810
					(内 元金償還金)	(498)	(259)	(758)
					(内 支払利息等)	(31)	(22)	(53)
小 計	663	337	1,000	小 計	663	337	1,000	
その他	受託業務収入等	2	1	4	受託業務費等	2	1	4
合計		716	339	1,055		716	339	1,055

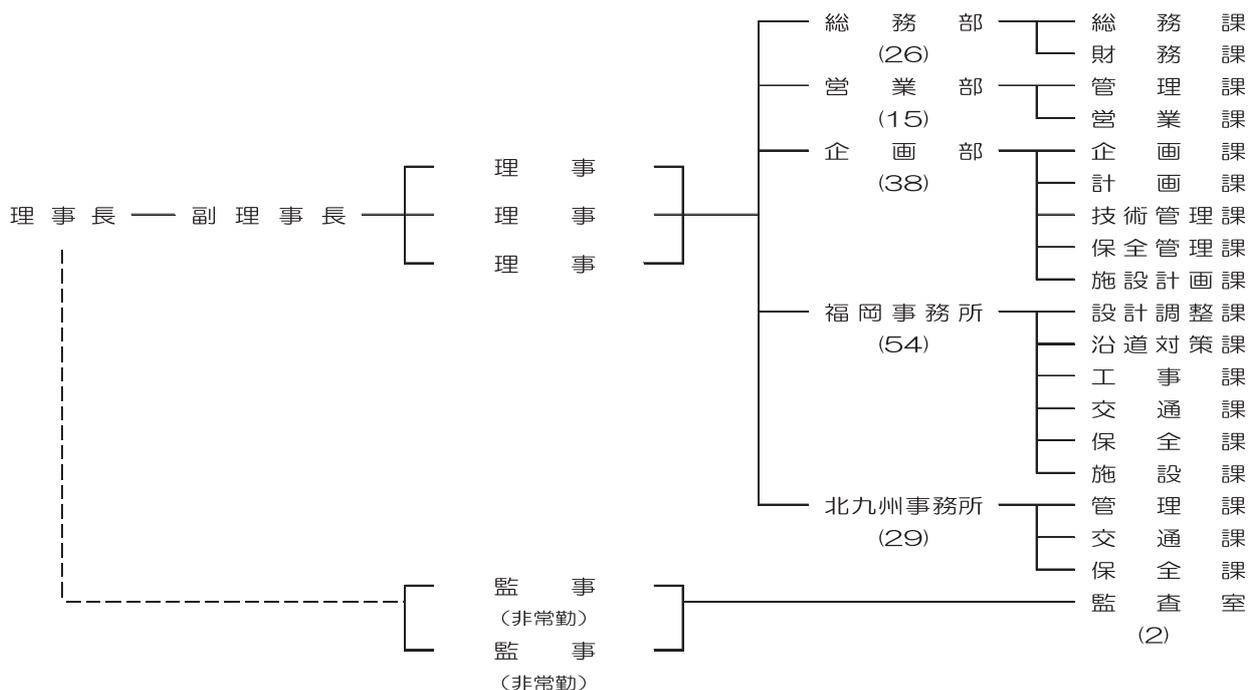
※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(*1) 維持改良費；高速道路及び附属施設の維持補修・改良工事に要する経費

(*2) 業務管理費；高速道路の料金收受業務や交通管理管制業務委託ほか管理に要する経費

6) 役員・組織

平成30年7月1日現在



*この実数内で常任調査役、調査役を配置（上記への表示、略。）

7) 主な経緯（計画路線・償還期間・主な供用・その他）

[延長は、総延長を示す。]

年月		福岡高速	北九州高速
1971年 (昭和46年)	11月	福岡北九州高速道路公社設立	
1972年 (昭和47年)	3月	当初の計画【21.2km】の大臣許可	当初の計画【19.9km】の大臣許可
1980年 (昭和55年)	10月	都市高速の償還期間30年	
		最初の開通：香椎～東浜[5.9km]	最初の開通：篠崎北～日明[3.7km]
1987年 (昭和62年)	11月	天神北供用[延長9.2km]	
1989年 (平成元年)	3月	百道・榎田・空港通供用[延長16.5km]	
1990年 (平成2年)	7月		計画の延伸【45.6km】 ・4号線[31.8km]新規組入れ ・1号線[下道津～西本町：6.1km]削除
1991年 (平成3年)	3月		旧道路公園より北九州道路・北九州直方道路引継ぎ、4号線として春日～馬場山間供用[延長45.6km]
	10月	計画の延伸【28.6km】 ・1号線[福重：3.2km]、2号線[月隈：2km] ・3号線[見直し：-0.9km] ・4号線[3.1km]新規組入れ	
1997年 (平成9年)	12月		計画の延伸【47.1km】 ・1号線[長野：1.5km]
1998年 (平成10年)	2月	計画の延伸【38.7km】 ・2号線[水城：6.3km]、4号線[福岡IC：3.8km]	
	11月		計画の延伸【54.7km】 ・5号線[7.6km]新規組入れ
	12月	計画の延伸【56.8km】 ・5号線[18.1km]新規組入れ	
1999年 (平成11年)	3月	償還期間を30年から40年に延長 水城（太宰府IC接続）・粕屋供用[延長31.0km]	
2000年 (平成12年)	7月		償還期間を30年から40年に延長 長野供用[延長47.1km]
2001年 (平成13年)	7月		枝光供用[延長49.5km]
	10月	福重供用（西九州自動車道接続）[延長36.8km]	
2002年 (平成14年)	3月	福岡IC接続[延長38.7km]	
	12月		平成15年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『北九州高速の大規模補修に対する公的助成の拡充』
2003年 (平成15年)	5月	板付供用[延長41.4km]	
2004年 (平成16年)	3月		計画の見直し【49.5km】 ・大規模補修工事新規組入れ ・5号線[戸畑～枝光：5.2km]削除
2006年 (平成18年)	2月		償還期間を40年から50年に延長 [小倉東IC接続]
	4月	E T C運用開始	
2008年 (平成20年)	11月		E T C運用開始
2011年 (平成23年)	12月	平成24年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『福岡都市高速道路の老朽化・予防保全対策に対する償還期間の延長』	
2012年 (平成24年)	7月	償還期間を40年から47年に延長 5号線全通（環状化）[延長56.8km]	
2015年 (平成27年)	3月	福岡県・福岡市・公社の三者で、自動車専用道路アイランドシティ線及び福岡空港関連の自動車専用道路の整備を進めていくことについて合意	
2016年 (平成28年)	9月	計画の延伸【59.3km】 ・6号線[2.5km]新規組入れ	

お客様問い合わせ番号
(平日/8:45~17:30)

福岡高速 092-631-0122
北九州高速 093-922-6811

事故や災害など緊急連絡先

緊急ダイヤル #9910
福岡高速 092-631-0123
北九州高速 093-922-6812

ハイウェイテレホン
(自動音声/24時間)

福岡高速 092-643-1300
北九州高速 093-931-1400

■ 総務部 役員受付 TEL(092)631-3281
総務課 TEL(092)631-3282
FAX(092)631-3287

財務課 TEL(092)631-3289
FAX(092)631-0128

■ 監査室 監査室 TEL(092)631-3295
FAX(092)631-0128

■ 営業部 営業課 TEL(092)631-3284
FAX(092)643-6228

管理課 TEL(092)631-3292
駐車場専用 TEL(092)643-6114
FAX(092)631-0277

■ 企画部 企画課 TEL(092)631-3291
計画課 TEL(092)631-3290
技術管理課 TEL(092)631-3293
FAX(092)643-7061

保全管理課 TEL(092)631-3285
施設計画課 TEL(092)631-0153
FAX(092)641-6260

■ 福岡事務所 設計調整課 TEL(092)631-0134
FAX(092)632-5591

沿道対策課 TEL(092)631-0148
FAX(092)643-0972

工事課 TEL(092)631-0136
FAX(092)631-6830

交通課 TEL(092)631-0123
FAX(092)632-5559

保全課 TEL(092)631-3304
施設課 TEL(092)631-6868
FAX(092)643-2070

■ 北九州事務所 管理課 TEL(093)922-6813
保全課 TEL(093)922-6815
駐車場専用 TEL(093)922-7036
FAX(093)922-6816

交通課 TEL(093)922-6812
FAX(093)922-6829



福岡北九州高速道路公社

〒812-0055 福岡市東区東浜2丁目7番53号

<http://www.fk-tosikou.or.jp>

都市高速 検索